

Ⅱ 章 - 自治会等への加入を促進しよう

1 . 加入促進活動の心構え・体制

一部の役員だけではなくみんなで、継続して組織的に取り組むことが望めます。

加入促進活動の心構え

加入促進活動について、自治会等全体で共通理解を持つことが大切です。
また、未加入世帯の現状をきちんと把握することがより適切な取り組みにつながります。

◆自治会等の意義やメリットを伝える

加入だけを呼びかけるのではなく、なぜ自治会等が必要かを伝えることが大切です。自治会等の意義やメリットが十分に伝わらなければ、加入する必要性を感じてもらえません。

◆日ごろのつながりを大切に

声かけやあいさつなど、住民同士の日ごろのつながりが大切です。

◆地域の特徴を踏まえて活動する

戸建て住宅、集合住宅、またそれらが混合している場所など、地域の状況はさまざまです。それぞれの区域にどのような活動が効果的か、特徴を踏まえて取り組みましょう。



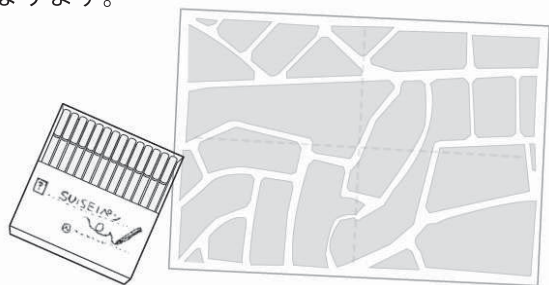
未加入世帯の現状把握

地域の情報をできるかぎり正確に捉えておきましょう。

現状把握の方法（例）

◆地図を活用する

区域の地図に未加入世帯を書き込むなど、情報を可視化すると現状がよりわかりやすくなります。



◆転出入、開発情報を共有する

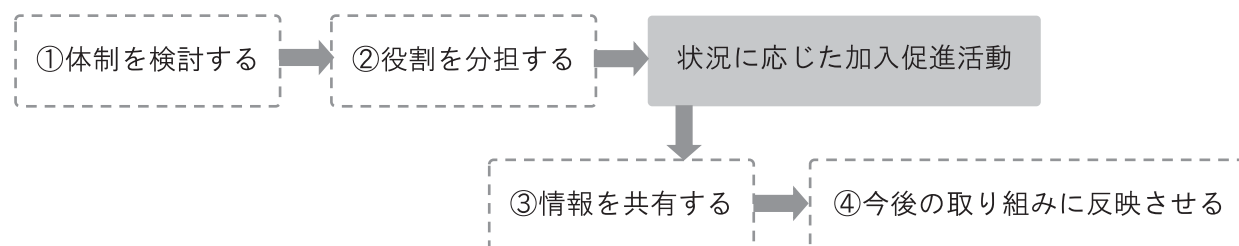
空家、取り壊しになった場所、新たに転入した家や、区域、集合住宅の開発計画などに留意し、役員会等で情報を共有しましょう。

◆アンケート調査をする

自治会活動の認識やどんな活動であれば参加できるか等、未加入世帯を含め、住民みんなの意見を確認します。イベント時の聞き取り、意見交換会を開催する方法もあります。

組織的・継続的な取り組み

加入促進活動をより効率的に行うため、取り組みをみんなで共有し、今後に活かしましょう。



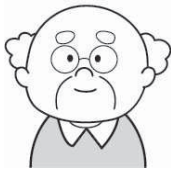
①体制を検討する

単発的な取り組みではなく、働きかけた情報を自治会内で共有し、今後の取り組みに反映させる体制をつくりましょう。

加入促進活動の進め方や情報をまとめる担当を置き、組織的に取り組む自治会等もあります。やむを得ず一部の人で取り組む場合、いつ、どのように加入を呼びかけたか、きちんと引き継げるようにしましょう。継続的な加入促進活動は自治会加入率の低下を防ぐ手立てとなります。

②役割を分担する

加入促進活動に関わる人を増やすことで、みんなで取り組んでいるという意識になり、個々の負担の減少や、より効率的な働きかけにもつながります。

			
広報担当	交渉担当	転入者の把握担当	訪問担当
(役割) 準備物の作成 加入案内チラシの作成	(役割) 開発業者、家主、管理 組合等との交渉	(役割) 班長等が把握し、役員 会等で報告	(役割) 戸別に参加訪問



地区ごとに副会長を配置し、加入促進活動を行っています。普段は各地区の担当が、開発などで複数の加入が見込まれる場合は、副会長はじめ自治会役員が分担して訪問します。

私のマンションでは各階ごとに担当を置き、転出入を適宜把握しています。



③情報を共有する

- ・未加入世帯の情報…「新たに転入」と「以前から未加入」の世帯では状況が異なります。
- ・活動の結果、問題点…加入に至らなかった場合も、取り組みを検証し、今後に活かしましょう。

④今後の取り組みに反映させる

実際の加入促進活動では、さまざまな問題や課題が生じることがあります。より効果的な働きかけができるよう情報を共有し、体制や役割を見直していくことも必要です。